

# 朝日の山並み

## いっぱい遊んで大満足！朝少の冬企画フィナーレ

今年の冬は、昨年以上の暖冬で過ごしやすい毎日でしたが、子どもたちにとっては「雪遊び」が思うようにできない、ちょっぴりもの足りない季節だったかもしれません。自然の家でも、雪が少なく、活動地でのチューブすべりをチューブ引きに変えるなどして対応しましたが、子どもたちのエネルギーと「豊かなアイデア」には、目を見張るものがありました。雪不足のため何度か軽トラックで、西川町役場大井沢支所に雪をもらいに行きましたが、子どもたちの雪に触れて満足した表情を見ると疲れも吹き飛びました(#^\_^#)

### 冬満喫第1弾「チューブすべりとアイスクリーム作り」

今年は、50年に1度？とも言われる雪不足で、開催が心配されましたが、始まってみれば、参加者同士が和気あいあいと楽しい雰囲気を作り出し、最高の笑顔が溢れました！スタートは、1年の目標を込めた絵馬づくり。その後、体育館に移動して人力チューブ引き。そして、アイスクリーム作りと、左沢高校のJRC部さんのサポートを受け、充実した一日となりました。



### 冬満喫第2弾「イグルー作りと冬遊び」

イグルーづくり、キャンドルづくり、途中ココアで温まりながら、夕飯の後は、冬花火に玉こんにゃく！夜は氷点下の体育館でのテント泊や初めての2段ベッドでのお泊り。そして、2日目は待望の雪にも恵まれ、チューブ滑り！と冬を思いっきり満喫した2日間となりました！



発行  
山形県朝日少年自然の家  
電話  
0237(62)4125  
Fax (62)4126  
ホームページ  
山形県朝日少年自然の家  
で一発検索



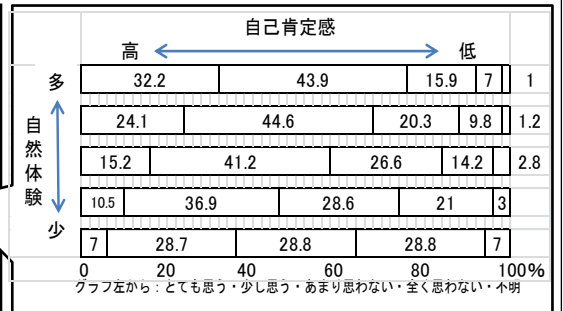
### 「自然体験の重要性について」

社会が豊かで便利になる中で、子どもたちの様々な体験が減少し、自然体験を含む豊かな体験活動の充実が叫ばれています。右のグラフは、国立青少年教育振興機構の調査(H24)による子どもたち(小学校4~6年生)の「自己肯定感」と自然体験との関連を表しています。

自然体験の設問は、昆虫を捕まえたり、夜空いっぱいに輝く星を見たり、海や川で泳いだり、キャンプをしたことで、自己肯定感の設問は、学校の友達が多い、今の自分が好きだ、自分には自分らしさがあるというものです。このグラフからは、自然体験が豊富な子どもほど自己肯定感が高いことがわかります。この傾向は、学校段階別では中高生に比べ小学生の方がその関係性がより顕著にみられるようです。また、自己肯定感だけでなく、道徳観や正義感も同様の傾向でした。(数字でみる体験活動と「生きる力」体験の風をおこそう3より)

本所は、保育園・幼稚園・小中高等学校だけでなく、地域子ども会やPTA、スポーツ少年団などの社会教育団体、一般家庭の方々幅広く利用でき、誰もが自然に親しみ、子どもたちの「心育て」ができる施設です。現在はコロナウイルス感染症が心配される状況ですが、新年度、たくさんの方のご来場を楽しみにしています。

(所長 板垣恵一)



### 今後のイベントのご案内

朝日わくわく広場①「段ボールでピザを焼こう」 ☆4月26日(日)

食材たっぷりのモチモチピザが、なんと段ボールで焼ける！？家族や友達と、本格的なピザ作りにチャレンジしてみよう。

フラネタ川村一般公開「春・夏の星空めぐり」 ☆5月23日(土)・24日(日)

春から夏にかけての星の動きや星座について紹介します。

春の大曲線や春の大三角、夏の大三角や天の川など、5月から見ごろを迎える星座たちを素敵な音楽とともに楽しみいただけます。

※新型コロナウイルスの状況によっては、事業の内容が変更または中止になることも考えられます。詳細については、お問い合わせください。